

レハ
%ニ減少セリ今試ニ當時ノ缺勤狀況ヲ前年ノ全期ニ比ス

大正七年

大正八年

減

九月 % 一六・一六

一・一六八

四・四八

十月 % 一三・三三

八・七三

四・六〇

十一月 % 一五・〇四

六・四三

八・六一

ニシテ尚現今ニ於テモ八時間實施以前ニ比シ少クモ平均

三%ハ常ニ減少セリ

二 生産高

生産高ニ就キテハ正確ナル數字ヲ知ルコト困難ニシテ明確ヲ期シ難キモ八時間制實施當時ノ狀況ニ於テハ八時間ヲ以テ従前九時間分ノ作業ヲナスコトハ稍々困難ナリシモ八時間半ノ能率ヲ示スコトハ敢ヘテ至難ノモノニアラザ

ルカ如シ蓋シ一般職工ノ緊張セル気分ト休憩時間及入退場時ノ取締方等ニ依リ之レガ填補ヲ見タルモノナランカ

三 八時間労働制ノ適否ニ付キテハ必ズシモ異論ナキニアラサレ共當所ノ如キ機械工業ニ在リテハ蓋シ適當ノ施設ニハアラザランカ限リアル体カヲ以テ限リナキ勞力ヲ望ムハ難ク然カモ毎日ノ業務ニ克ク連續的ニ就業スルガタメニハ又相當ノ休養ヲ要スルヲ以テ寧ロ比較的短時間ノ全カヲ盡シテ就業セシムルト共ニ家庭ニ於ケル休養ニ比較的長時間ヲ與ヘテ生活ノ幸福ヲ得セシメ其ノ結果トシテ缺勤ヲ減少セシムルハ却テ得策ナルヘシ